

		赤煉瓦倶楽部舞鶴 会報	
		発行人/会長 吉岡博之	
		編集人/小野章	
		〒625-0062 舞鶴市森973番地の1	
		FAX/0773-63-9764	
		E-mail brick7388@yahoo.co.jp	
赤煉瓦倶楽部舞鶴			
会報129号 令和7年(2025年)1月14日			
「赤煉瓦倶楽部舞鶴」ホームページ		http://www.redbrick.jp/	

目次

1. 舞鶴線開通120周年記念講演会のご案内	3. 舞鶴の鉄道の記憶 (その1)
2. 合同展『北緯五〇度でレンガを作った男たち』のご案内	4. 舞鶴の水道を巡る (第2回)
	編集後記

**謹賀新年 皆さまにとって素晴らしい一年となりますように！
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます**

1. 舞鶴線開通120周年記念講演会のご案内	吉岡博之(会長)
-------------------------------	-----------------

昨年の11月2日(土)午後開催を予定していた「官設鉄道舞鶴線開通120周年記念シンポジウム」は、当日の朝になって突然強風と強い雨が降りはじめ、舞鶴地域に大雨警報が発表されたことから、共催していただいていた舞鶴市の担当部署と相談し、安全第一と判断して誠に残念ながら中止を決定いたしました。急きょ中止となったために連絡が行き届かず、雨の中を20名以上の方々においでいただきました。ご来場いただきました皆様に深くお詫びを申し上げます。

シンポジウムの基調講演の講師として、前日から舞鶴入りされていた(公財)鉄道総合技術研究所アドバイザーの小野田 滋さんは、中止決定と伝えると、是非日時を改めてやりましようと言っていました。

つきましては、年越しとなりましたが、改めて「舞鶴線開通120周年記念講演会」として以下の日程で開催させていただくことになりましたのでご案内をさせていただきます。皆さんお誘いあわせの上、是非ご参加いただきますようよろしくお願ひ申し上げます。

- 日時 令和7年3月16日(日)14時~16時 (開場は13時30分から)
- 会場 舞鶴市西駅交流センター (JR西舞鶴駅) 3階ホール
- 講師 公益財団法人 鉄道総合技術研究所アドバイザー 小野田 滋 氏
- 演題 「めざせ、舞鶴！ 一京都鉄道・阪鶴鉄道・官設鉄道一」
- 主催 赤煉瓦倶楽部舞鶴
- 共催 舞鶴市公共交通ネットワーク会議、舞鶴市

※1 会場内で、舞鶴線の赤れんが造りのトンネルや橋りょう等の写真パネル展示をいたします。

※2 駐車場については、市営西舞鶴駅駐車場をご利用ください。

現在、赤れんが博物館では「赤れんが博物館・舞鶴引揚記念館合同展『北緯五〇度でレンガを作った男たち』」を開催しています。展示構成は舞鶴引揚記念館の常設展示をベースとし、赤れんが博物館からは、「歴史を証言するれんが」コーナーで常設展示している「シベリア抑留者がつくったれんが」の寄贈時にいただいた資料「キルピーチ会記念誌」を紹介しています。この資料は、ハバロフスク地方のティルマにあった収容所で強制労働でれんが作りに従事した方々が自分たちの体験をまとめられたもので、生活していた収容所やその周辺の様子、れんが作りの方法などがイラスト付きで記録されています。

収容所の工場でのれんが製造の作業は当初、水を加えた粘土を練る作業に馬2頭を使ったり、粘土の成形も木製のれんが型枠で行ったりと手

作業で行われていましたが、やがて機械化が進み、土と水を混合するミキサー、ミキサーから送り出されてきた粘土をプレス、プレスから出てきた長いようかん状の粘土を切断しれんがの形にする切断機などが導入されていきました。展示のれんがは、元抑留者の方々が2001（平成13）年に現地を再訪して持ち帰られたもので、平面のちりめん状の切断跡から機械化されてから製造されたであろうことがわかります。

収容所では燃料となる樹木の伐採、原材料の粘土掘り、粘土と水を混ぜて成型する「生れんが」作り、乾燥させたれんがの窯入れ、焼成後製品の窯出しなどの厳しい労働が課せられました。ティルマでれんが作りに従事した彼らの記録や資料を通して、シベリア抑留や引き揚げについて知っていただければ幸いです。

会期 2024年12月1日（日）～2025年2月2日（日）

開館時間 午前9時～午後5時（最終入館時間 午後4時30分）

入場料 一般400円 学生150円（市内在住・市内に通学の学生は無料）

※ 掲載写真は本合同展の様子



鉄道好きの一舞鶴市民として「舞鶴の鉄道の記憶」の幾つかのシーンを紹介いたします。

私は戦前に舞鶴市に生まれ、国鉄勤めの叔父の影響からか、鉄道好きになり、東京オリンピック景気に沸く時代に旅行会社に入社いたしました。そのため国鉄との関りが深く乗車券などの発行業務も経験致しました。また若い時に「北近畿鉄道友の会」など鉄道好きの仲間づくりに関わりました。現在は北近畿鉄道ビジネス株式会社や赤煉瓦倶楽部舞鶴でも鉄道イベン

トの実行や企画指導に携わっています。

先ずは、おなじみの東海道鉄道唱歌について。鉄道唱歌は日本全国では364番あると言われ、山陰線は70番まであります。そのうち舞鶴は山陰線6番にありました。鉄道開通当時の東西舞鶴の駅舎は以ています。西舞鶴にはミニ操車場の機能がありましたが、東舞鶴の操車場は海軍関係の貨物車や引揚者用の客車留置に使われました。



舞鶴駅（現西舞鶴駅）



新舞鶴駅（現東舞鶴駅）

東舞鶴駅（旧新舞鶴駅）について

昭和40年頃の東舞鶴駅について記憶していることを挙げてみます。

昭和39年当時の京都新聞の「駅シリーズ」の見出しには、日露戦争中に誕生・引き揚げ特別列車500本・軍港の発展・特別通路あり・昭和19年2階建てに改造・駅員200人などがあります。地方の駅では珍しく要人を迎える貴賓室を備えていました。貴賓室は昭和8年完成。ホームを渡る地下道と跨線橋を備えています。吹き抜けのステンドグラス窓のある大きな駅舎は、中央に蛍光灯が照らすアクリル板に書かれた発車の時刻表がありました。東駅は多い時は200人の男性職員が勤める駅でした。

昭和22年ごろから引揚げの要衝となっていまし

た。東駅は引揚者66万人の内53万人を各地に送り出しました（西駅は21年7月まで13万人の西港上陸者が利用）。構内の多数の引き込み線は機関車無煙化後に客車の廃車置き場となりました。

中舞鶴線は新舞鶴駅（当時）から分かれた軍港引込線であり、戦前は海軍工廠へ通勤する職さんら約五千人を運ぶため客車が日に16往復していました。海軍工廠は多くの駆逐艦などを建造し、戦後は飯野産業、ついで日立造船が引き継ぎました。因みに、中舞鶴駅については、阪鶴鉄道建設計画には舞鶴駅（現西舞鶴駅）から余部ルートで作る計画でしたが、有力者の反対で現在の東舞鶴駅からの引込線ルートに収まったと聞きます。



引揚者を送った先代の東舞鶴駅



往時の東舞鶴駅構内



中舞鶴駅周辺の展望

舞鶴の近代水道は明治 34 年に桂水源地と北吸浄水場・配水池から始まる訳ですが、あくまでも軍用水道であって、軍人住宅以外の市民への給水はかろうじて昭和 18 年頃にごく一部（文書で確認できるのは大野辺市営住宅と吉原地区）に供用されたのみで、終戦後によりやく本格給水がスタートします。それまでの市民の水道はもっぱら井戸水に頼っていたと、昭和 26 年の水道概要に記されています。山間部では谷水を引くこともあったでしょう。ちなみに近代水道というのは、濾過浄水・有圧配水・常時給水と定義され、近代水道の三大発明は砂濾過・鑄鉄管・ポンプだそうです。

つまり浄水方法としてはまずイギリスで開発

された砂濾過が初めにあって、昭和に入ってからアメリカの急速濾過プラス塩素滅菌の手法が主流になりました。戦後駐留軍が塩素滅菌を普及させたため、砂濾過方式は広い面積を要することもあって減少傾向となりましたが、今ではエコロジカルの視点から見直されています。そして常時給水を実現するために一定の水圧に耐え得る水道管として開発されたのが鑄鉄管であり、日本では明治時代から国内製造の努力が始まり、明治末期には輸入から国産へと切り替わっていきました。そしてこの「水圧」を生むために、一般的には配水池という高所の施設が必要であり、そこへ浄水を送るために、ポンプ設備が必要になることが多いのです。



与保呂水源地 桂取水堰堤



北吸配水池

編集後記

舞鶴線開通 120 年を迎えた一方で、小浜線の存続が心配される。更に、北陸新幹線の小浜・京都ルートが盛んに議論されている。京都仏教会は「千年の愚行」として中止を求めている。京都市は本来繊細で慎ましい文化都市だが、観光公害で掛け替えのない資源を喪いかけ、日本国民自体も忌避している。もはや、新幹線の駅を増設する余裕はない。年明けの京都新聞で京都商議所会頭の堀場氏が、「舞鶴駅を設けるルートが望ましい」と表明している。これが山陰ルートへの延伸の意図ならば、とりあえず京都府北部へ延伸すべきではないだろうか。近く予測される南海トラフ巨大地震にあたって、日本海側での代替物流ルートとして十分貢献しうると考える。

本会の目的（要旨）：赤煉瓦を活かしたまちづくり活動、赤煉瓦ネットワーク交流と他市のまちづくり支援など。

会員の資格：会費納入者 年会費（個人 1,000 円、団体 5,000 円）。ご寄附も受け付けます。

会費・寄付等 振込先：①ゆうちょ銀行 四四八店（ヨンヨンハチ店）普通 3679505 口座名義 アカレングクラブマイツル
又は ②京都北都信用金庫 舞鶴中央支店 普通 口座番号 0686767 口座名義 アカレングクラブマイツル